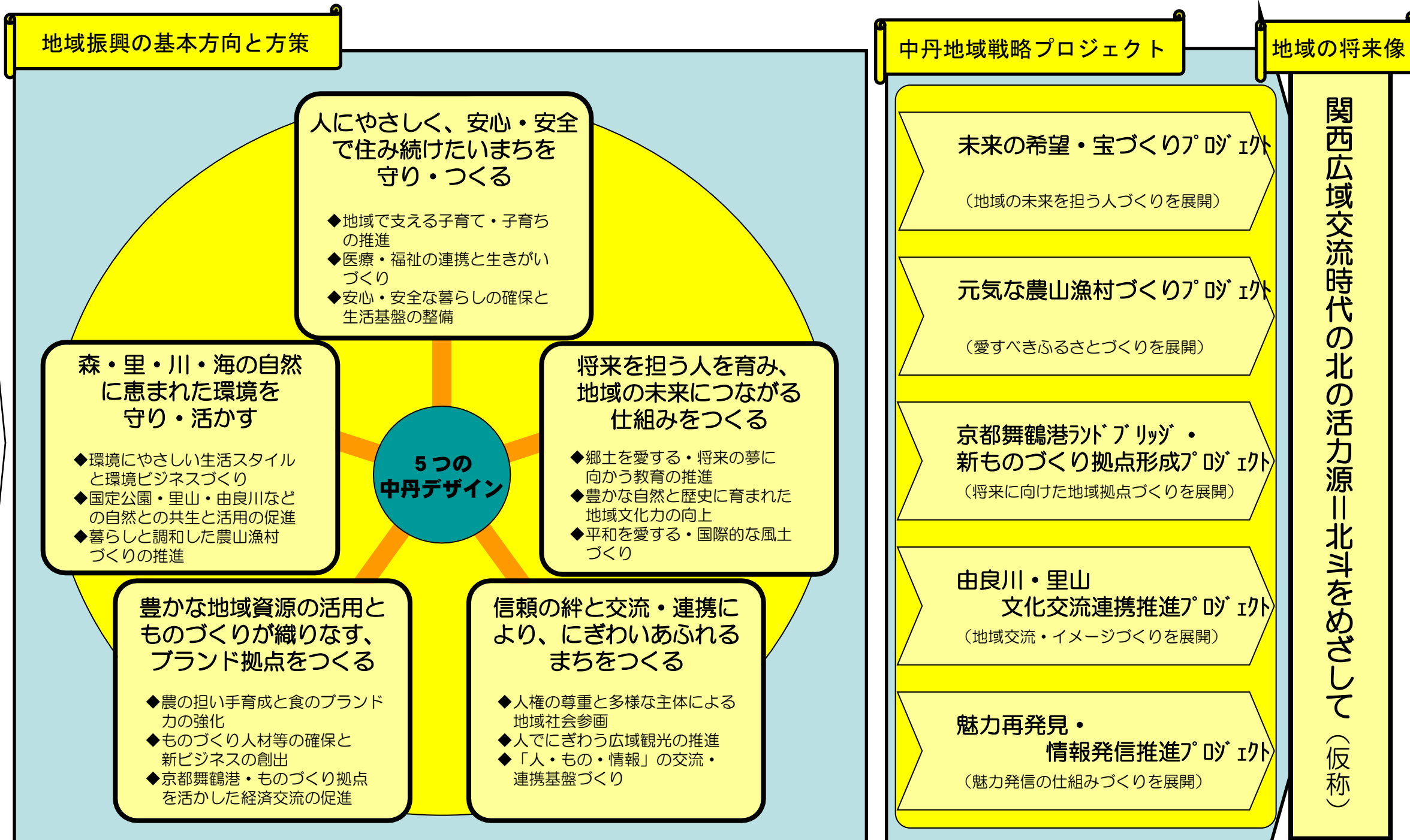


『新中丹』シンフォニー 中丹が元気になるために

福知山・舞鶴・綾部の3市や地域との絆を活かし、夢のある地域づくり...



＜中丹地域の現状・課題を踏まえた、5つの基本方向に基づく、(各分野において) 今後4～5年間に重点的に取り組む地域振興方策＞

＜地域の将来像を目指して、分野横断的に地域振興方策を推進・展開していくプロジェクト＞

＜10～20年後の地域の将来像＞

### ＜次期『中丹地域振興計画』の策定に係る考え方＞

- 平成17年3月に策定した中丹地域振興計画 = 『新中丹』シンフォニー に基づき、中丹地域が元気になることを目指して、3市等と連携しながら、地域振興を展開してきた。
- 少子・高齢化などの課題を抱えるものの、高速道路網の整備や舞鶴国際ふ頭の供用など、人や物の流れなどが一段と大きく変わり、便利になっていく = 夢のある地域 である。
- ありのままの中丹地域が持っている特質やすばらしさを再認識したうえ、地域の今後の変化の方向を見定め、未来の夢に向かって、次期『中丹地域振興計画』を策定する。
  - 地域の現状・課題を踏まえ、5つの基本方向(5つの中丹デザイン)に基づき、今後4～5年間に重点的に取り組む地域振興方策を盛り込む。 = **地域振興の基本方向と方策**
  - 現計画期間中に築いた3市等との連携を活かし、地域振興方策を分野横断的に、5つのプロジェクトで地域住民と一緒に推進・展開していく。 = **中丹地域戦略プロジェクト**
  - 府県を越えて広がる関西北部交流エリアの結節点として、将来(10～20年後)、関西北部・日本海側の交流・活性化の原動力となる地域を目指していく。 = **地域の将来像**